

シフトポジションインジケータ

SHIFT POSITION INDICATOR (SPI-M10)

【'13~ GROM グロム (JC61)】

取扱説明書

セット内容

- SPI-110mini本体 (ノーマルギア比でのシフトポジションデータ登録済み) x1個
- 専用ハーネス(HS-M10) x1個
- バーハンドルステー(SPI-BS01) x1個
- 防水シート x2枚
- タイラップ(142mm) x2本

注意事項

- 本説明書は'13 GROM(グロム) に対応する内容で記載しております。車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照いただき作業を行ってください。
- SPI本体の裏面にはスイッチがあります。付属の両面テープを貼り付けて、水が浸入しないように注意してください。
- 取り付けは説明書に沿って正しく行ってください。説明書記載以外の方法での取り付けは火災・事故などの原因になる事があります。ご注意ください。
- 本製品の使用により生じた事故・故障などいかなる損害においても当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 製品に不具合が発生し、修理や返品の際に生じた工賃・送料などいかなる費用について、当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

取り付け方法

※本説明書では製品の取り付けのみ解説いたします。車両メーカー発行のサービスマニュアルを参考に作業してください。

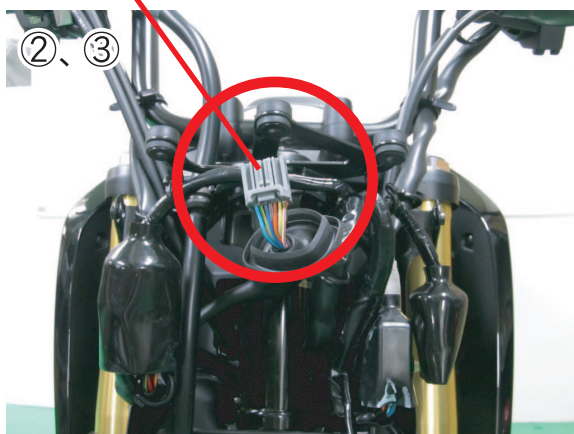
【取り付け作業の準備】

※作業の際は必ずキーOFFで行ってください。

- ①ヘッドライトを外します。

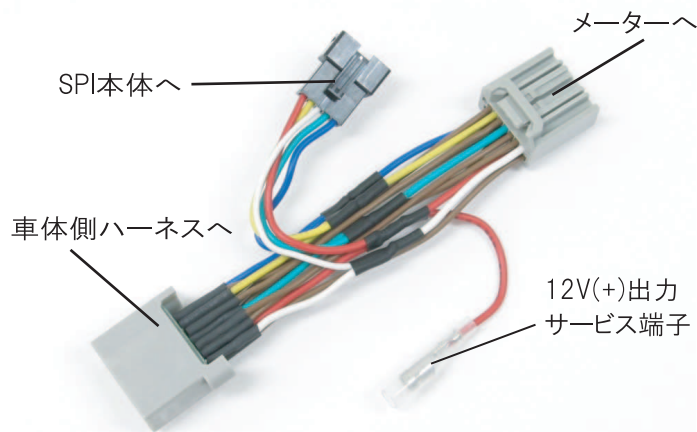


- ②メーターASSYを外します。
- ③メーターハーネスカプラー(グレー16P)を外します。

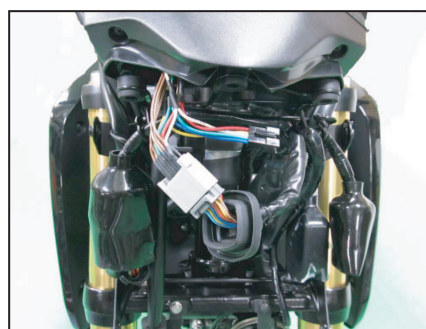


【専用ハーネスの取り付け】

- ①専用ハーネスを車体側ハーネスとメーターの間に接続します。



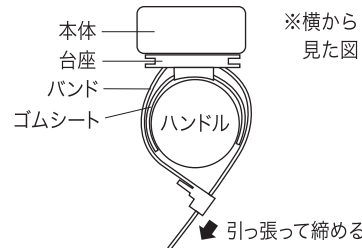
※12V(+)出力サービス端子は、弊社[盗難警報機CS-550]の接続を始め、アクセサリ電源として多目的に活用頂けます。



カプラー部に防水シートを貼り付けます。(裏面参照)

【SPI本体の取り付け】

- ①下の画像を参考に付属品のハンドルステーを取り付けます。
- ②シフトアップインジケータの設定後、SPI本体をハンドルステーに両面テープを使って貼り付けます。



- ③SPI本体のコードを専用ハーネスの5Pカプラーと接続します。
※ ハンドルを左右に切った際、SPI本体のコードに無理な力が加わらないよう取り回し、SPI本体のコードは車体側ハーネスなどにタイラップで固定してください。
- ④ヘッドライトを元に戻します。

【メーターカプラー用 防水シートの使用法】

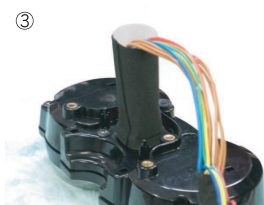
※画像は他車種のもですが基本的な施工方法は同じです。



①カプラーの大きさに合わせてカットする。
※カプラー外周より10mm以上大きくカットします。
※剥離紙を残すとシワを防ぐ事が出来ます。



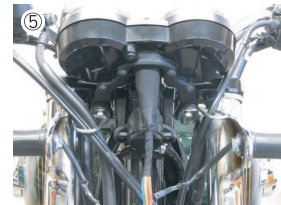
②防水シートを巻きつけます。



③防水シートを貼り合わせます。



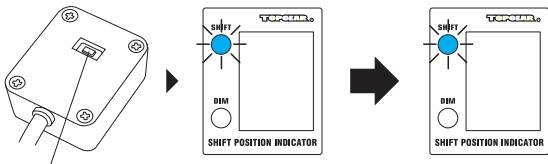
④ハーネスの出口を絞ります。



⑤防水シートとハーネスをテープングします。

シフトアップインジケータの設定

実際の走行時において、設定値より回転が上ると青色LEDが点灯します。



ギアがニュートラルであることを確認しエンジンを開始後、青色LEDが点滅するまで本体裏のボタンを長押しします。

設定したい回転数まで上げて戻すと青色LEDが高速点滅し、セット完了です。
※設定の変更は何回でも可能です。

ギアポジションの設定

本製品はGROMのノーマルミッション及びノーマルスプロケにおけるギアポジションの設定済みですので基本的にギアポジションの設定は不要ですが、ギアポジションが正しく表示されない場合、以下の方法でギアポジションの設定（登録）を行ってください。
※スプロケットを変更している場合は必ず設定を行ってください。

※ギアポジションの設定は実走行にて行います。

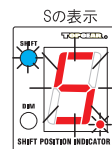
安定したエンジン回転数で走行し設定登録を行ってください。

※実走行での設定は周囲の道路状況に注意して行ってください。

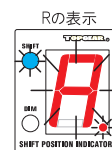
※「ドット点滅」から「数字の表示」に切り替わるのに若干時間がかかります。

【万一、以下の表示が出たら】

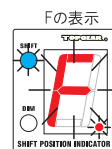
SPI本体やPG-110センサーと専用ハーネスが接続されているカプラーのピン抜けが考えられますのでご確認ください。



Sの表示
スピード信号が取れていない場合、S表示点滅+ドット点滅が表示されます。
SPI及び専用ハーネスの白線の接続を確認してください。



Rの表示
エンジン回転信号が取れていない場合、R表示点滅+ドット点滅が表示されます。
SPIと専用ハーネスの黄色線が正しく接続されていません。



Fの表示
スピード信号とエンジン回転信号の両方が取れていない場合、F表示点滅+ドット点滅が表示されます。
上記の「S」、「R」表示の問題点を確認してください。

実走行によるギアポジションの設定方法の注意点

- ※ ギアポジション設定にはスピード信号と回転信号の両方がSPI本体に入力される必要があります。
- ※ スピード(速度)信号のセンサーがあるホイールが回転しない状態では設定できません。(GROMはリアホイール側に速度を検知するセンサーがあります。)

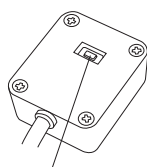
- ・ 設定は必ず実走行にて行ってください。
- ・ 走行の際は、周囲の道路状況を確認して安全に十分留意して行ってください。
- ・ 各ギア共に安定したエンジン回転数で走行し登録してください。
エンジンのノッキングなどギクシャクした走行状況下では正しい登録ができません。
- ・ 以後の設定操作は、【ギアポジションの設定】をご覧くださいまして設定を行ってください。

◆実走行以外での設定時の注意点◆

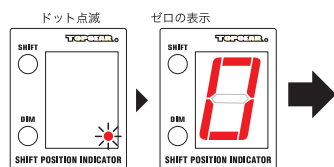
メンテナンス(レーシング)スタンドを使用して、リアタイヤを回転させて設定することができます。

※ 必ずリアホイールを回転(空転)させてください。

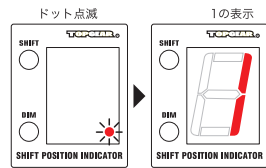
- ・ 以後の設定操作は、【ギアポジションの設定】をご覧くださいまして設定を行ってください。



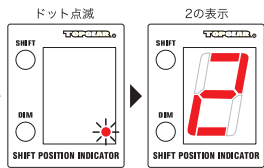
ギアがニュートラルであることを確認しエンジンを開始後、本体裏のボタンを3回押しします。



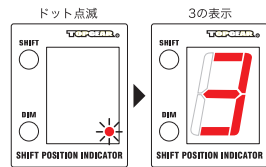
「ドット点滅」→「ゼロの表示(ニュートラル)」
になったらギアを1速に入れます。



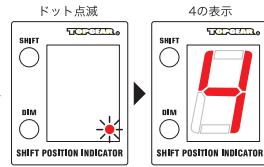
「ドット点滅」→「1の表示(1速)」
になったらギアを2速に入れます。



「ドット点滅」→「2の表示(2速)」
になったらギアを3速に入れます。



「ドット点滅」→「3の表示(3速)」
になったらギアを4速に入れます。



「ドット点滅」→「4の表示(4速)」
になったらギアを3速に入れます。

※GROMは4速車ですので、「4」の表示が出たら3速にシフトダウンして「ドット点滅」→「3」の表示が出たら完了です。